

令和8年度 第1回
三鷹市障がい者地域自立支援協議会
地域課題の共有・協議について(発表シート)

部会長 鶴田 明子
(発表者)

発表内容

部会名	相談支援部会
テーマ	以下の、第三期三鷹市障がい者(児)計画に掲げた「三鷹市の障がい者施策における課題」から、テーマを選択してください。 1. 障がいに対する理解の拡大 2. 安心して暮らせる地域づくり ③. 障がいのある人の自己決定の尊重と相談支援機能の強化・充実 ④. 生活支援と家族支援の充実 5. 就労を含めた社会参加の推進 ⑥. 一人ひとりの状況に応じた切れ目のないサポートの提供
具体的な内容・事例	1. 今年度の活動・テーマ これまで「サービスの切れ目」をテーマに事例検討を重ねてきた中で見えてきた課題から、現状の社会資源の把握をするため「地域資源の見える化」をテーマに活動する。 2. 活動経過 (1) 障がい者、高齢者の福祉サービスに関わる支援者を対象に多職種の事例検討を平成 30 年から実施してきた。 (2) 支援の切れ目は就学期＝6 歳、高校卒業移行＝18 歳にもあり、架空事例を作って、学校関係者、放課後デイ事業所、学童保育所、生活保護 CW など、切れ目に関わる支援者に参加を呼びかけ、多様な職種がつながる機会を作れたことは大きな成果である。 (3) 一昨年に引き続き、昨年度も複数の課題を抱える家庭における児童、障がい児(者)、高齢者等の各支援チームが連携できない「切れ目」に注目し、事例検討を行った。社会資源についての情報提供も行い、社会資源の確認と連携についてが課題として見えてきた。この点について今年度の部会活動の軸として取り組んでいきたい。
協議会の場で行いたいこと	■意見交換 ①情報の集め方 ②どのような形(方法)だと情報が受け取りやすいのか ③それぞれがもっている社会資源の情報をどのような形(方法)だと共有しやすいか

協議の結果 を受けた、今 後の部会の 予定	■昨年度までの事例検討会を重ねる中で地域課題の整理ができたため、その地域課題について優先順位を決めて取り組むこととする。 検討、整理した内容を事例検討に参加して下さった方々にフィードバックしていきたい。 ■今年度からの 3 年間は、これまでの様な事例検討会を行わず、今ある三鷹市の社会資源について、確認、検討する。 次期任期までの 3 年をかけて以下の取り組みをおこなう。 テーマ「社会資源の見える化」。 1年目 部会で社会資源について検討、確認。 2年目、3年目 全体での共有、次期計画につなげられるものがあるのか検討。 ■令和8年度の具体的な取り組み 「障がい」「高齢」「子ども・教育」の3分野に分けて、社会資源についてヒアリングする。 社会資源をうまく活用できたケース、そうではなかったケースを確認することで不足している社会資源を確認する。 ①他分野、他機関と連携するときに工夫・意識していること(より連携が進むためにコツ) ②うまく連携できなかった、利用につながらなかったときについて(こう関わればよかった、困ったことなど)
その他	